

2014 国際アカデミー inHANDA

通訳ボランティア マニュアル

公益社団法人 半田青年会議所
2014 年度 国際アカデミー実行委員会

テーマ

「共鳴」

目次

第1部 国際アカデミーについて

- 1：青年会議所とは？
- 2：国際アカデミーとは？
- 3：通訳ボランティアの目的

第2部 通訳ボランティアの皆様へ

- 1：活動前の準備
- 2：モジュールに参加して
- 3：生活習慣についての情報（参考）
- 4：まとめ

メモ

第1部 国際アカデミーについて

1. 青年会議所とは？

青年会議所（JC）は、世界の恒久平和の実現を理想とし、次代の担い手となる責任感をもった20歳から40歳までの指導者が集まる青年の団体です。

青年会議所のメンバーは人種、国籍、性別、職業、宗教などの差別なく、自由な個人の意思により各都市の青年会議所に所属しています。全世界に及ぶこの青年会議所運動の中核は国際青年会議所が担っており、123の国と地域に国家青年会議所があり、約17万人が国際的な連携をもって活動しています。

日本には公益社団法人日本青年会議所が国家青年会議所としてあり、696の都市に33069人、女性2139人(2月1日現在)の会員を擁し、明るく豊かな社会の実現を目指し日々活発な活動を続けています。

国際アカデミーは日本青年会議所が主催し、毎年日本各地で行われています。

2. 国際アカデミーとは？

国際アカデミーとは、明日のグローバルリーダー育成トレーニングの機会を志の高い人間に与え、彼らが相互理解や友情を深めあうことにより、青年としてのネットワークを地球上に築き、恒久的世界平和の実現を目指すことを目的としたトレーニングプログラムで、1988年以来今回で第27回を数えます。

世界70か国から参加者が集うこのプログラムで、参加者たちは「自己の修練、社会への奉仕、世界との友情」を体験し、明日を担うリーダーとして旅だっていきます。

また日本で開催される国際アカデミーは、私達日本人にとって、日本の伝統や生活文化を世界に発信する大切な機会でもあります。私達の行う国際交流が世界の恒久平和の実現に寄与する重要なプログラムです。参加者たちは、日本の生活文化を学ぶ「ホームステイプログラム」にはじまり、日本人参加者を交えてのメインセミナーなど、約1週間にわたるプログラムを通じて世界の恒久平和を担うためのネットワークを築いていきます。

3. 通訳ボランティアの目的

国際交流の場で一番大切なのは互いの文化を理解しあうことです。

様々な民族風習・伝統文化の違いから考え方や価値観の違いを知り、それを理解し合うことなのです。その第1歩は相手を理解することです。(相互理解)

文献や映像から得た情報でその本質は理解できません。ともすると誤解さえ招いてしまいます。

通訳ボランティアの皆様は、海外デリゲイツと国内デリゲイツのコミュニケーションの橋渡しをする担い手として活動していただきます。海外から始めて来られる方々が殆どだと思います。その中で、彼らにとっての耳となり、口となり、国内のデリゲイツの話をただ伝えるのではなく、3者間のコミュニケーションを結ぶキーマンとして楽しんでいただく場合もあります。

日本の生活文化・習慣を肌で感じていただき、より深い日本への理解を得るためには、皆様が、どれだけ親しむことが出来るかに掛かっています。皆様と海外からの参加者が日本の生活文化に触れ、また皆様も異国の文化に触れることで、国際的な感性を磨き、交流を深めていただければ幸いです。文化・風習が違って、言葉が違って共に話し、共に笑う空間を共有することで、人類は皆兄弟であることを体感していただけることと思います。

第2部通訳ボランティアの皆様へ

1. 活動前の準備

(1) 英語のJ C用語について

海外デリゲイツと国内デリゲイツの会話がスムーズに行われな場合、皆様に意味が通じるようにお手伝いいただくのが基本的な活動内容です。

英語と日本語の橋渡しが基本になります。また、会話がスムーズであれば、見守っていただき、プログラムを一緒に受けていただきながら進行します。

国内外のJ Cメンバーによる会話の内容には、専門的な単語や普段の日常では使い慣れない専門用語が出てきます。これらについては別紙(J C用語集)に目を通しておいてください。又、皆様方は、プロではありません。あくまでもボランティアの一環で参加していただいていますので訳せないことがあっても当たり前です。その際も焦らず対応してください。もちろん、会場内にもフォローできる人間も待機しています。肩肘張らず、国際交流を間近に感じながら、通訳ボランティア活動を行ってください。

(2) 日程

期間中の日程をお知らせいたしますので、それらを基にして御自分の活動できる範囲で参加日程を立ててください。ただし、基本的に1つのプログラムやモジュールが1つの活動単位となります。それぞれが、複数回の活動を行うことも大いに歓迎いたします。

(3) 海外デリゲイツの英語

通訳ボランティアに参加して、一番心配に思われるのは「自分の英語で本当に大丈夫なのか？」ということです。

海外デリゲイツは日本語が出来ない方がほとんどです。今回の参加者で英語圏以外の国から来る人も、英語をある程度は話せますが、彼らの国の言葉で会話するのは難しいでしょう。最低限必要と思われる言葉は、活動前に市販の会話集など使ったり、あるいは、発音は、はっきり、ゆっくりと話し、ジェスチャーをしたり絵を描いたりすれば、心配していた以上に通じるものです。黙っていても意思の伝達はできません。文法や語法、発音などは、余り気にせず、できるだけしゃべってみましょう。

デリゲイツの国の「ようこそ」「ありがとう」等簡単な言葉は少し覚えておいて使ってあげればとても喜ばれます。また、英和・和英辞典等を準備しておいて、いざという時に使えば役に立ちます。大切なことは、はっきり伝えようという意思と、あいまいな言葉を避けることです。

言葉を越えた気持ちの触れ合いが大切でしょう。

2. プログラム・モジュールに参加して

(1) 出会い・あいさつ

初めての出会いですから、デリゲイツが安心できるような第一印象を与えたいものです。落ち着いて相手の目を見て笑顔で挨拶してください。デリゲイツの国の言葉で挨拶ができればよいのですが、もちろん「HELLO!」で構いません。黙って頭を下げ、にっこりするというのは、良い出迎えの挨拶とは言えません。言葉があれば相手は安心するものです。自己紹介をしましょう。名前やニックネームを紹介し、名前をしっかりと覚えてもらうというようなことが出来ればベストです。

(2) ご参加くださる皆さまへ

デリゲイツにとって最高の機会となるよう、皆さまのお力をお借りしながら、プログラム等を進めて参ります。同時に、通訳としてご参加くださる皆さまにとっても、生きた英語に触れ、国際感覚を磨き、様々な国々のものの考え方に触れることができる貴重な経験を
得られる機会になるよう、スタッフもバックアップしていきます。

(3) 参加当日のたまかな流れ

ご担当いただく時間の30分前までに通訳ボランティア控え室にお越しください。(お時間
までに来られない場合はこちらから連絡を取ることがございます)

控え室にて事前説明を受けて、ご自身の担当テーブル番号をご確認の上、会場前に入ってい
ただきます。会場に入りましたら、ご担当のテーブルについていただき、ぜひ海外デリゲ
イツや国内デリゲイツと握手をしながら自己紹介をして、国内デリゲイツと海外デリゲ
イツのコミュニケーションの橋渡しを行ってください。会場内には青年会議所のスタッフが
居りますので、ご不明な点はお気軽にお声がけください。

(4) ご参加いただく各モジュール

ご参加いただく各モジュールの内容は別紙をご確認ください。

(5) 留意事項

- ・ お越し頂く際は、交通費は自己負担でお願いいたします。
- ・ 服装は通訳ボランティア用の揃いのTシャツをご用意いたします。
動き易く、快適な服装でお越しください。
但し、短パン、サンダルなどラフな軽装はご遠慮ください。
- ・ 会話をメモするなど必要な方は筆記用具をお持ちいただけると幸いです。
- ・ その他ご不明な点をご遠慮なくスタッフまでお問合せください。

3. 生活習慣についての情報（参考）

(1) 食事について

生活習慣の違いや宗教上の理由などにより、食事について制限や戒律を持つデリゲイツは意外に多いので気をつける必要があります。

例えば、イスラム教の人は豚肉を食べませんし、ヒンズー教の人は牛肉を食べません。イスラム教の場合、豚肉を食べないということは、それを材料にしたもの、例えばラード、ソーセージ、ハム、スープも食べないということです。

少しくらいとか、目に見えなければいいだろう、などと思わないでください。特に肉類については、注意して用意しなくてはなりません。また、菜食主義者の人の中には、卵やチーズなどは食べるという人もあり、個人差があります。

例) イスラム教徒：豚肉を食べませんし、左手で食事をすることを不浄としています

ユダヤ教徒：豚肉を食べません。

ヒンズー教徒：牛肉を食べません。

ベジタリアン：全く肉類を食べない人から、卵や魚を少しなら良いという人まで様々です。

(2) お酒・たばこ

日本では、お酒を飲むことについて開放的で、お客様の接待にはお酒類が無くてはならないように考えられています。

しかし、これも宗教上の理由や食習慣の違いから国々によって異なり、お酒を飲まない人は沢山います。また、最近世界的に禁煙運動が盛んで、タバコを嫌がる人が増えています。

(3) お風呂・トイレ

国により入浴方法も違います。大部分の海外デリゲイツは日本式の風呂の使い方に馴染んでいないでしょう。日本人は、浴槽につかってのんびりするとか、体を温める入浴法ですが、世界各地で様々なスタイルがあり、朝、シャワーだけという人も多いのです。体は浴槽の外で洗うこと、体を温めるために入ること、お風呂から出るときは栓を抜かないことなどを伝えないと、浴槽のお湯がなくなってしまうなどということになりかねません。ただ、慣れない外国人には浴槽のお湯が熱すぎるようですので、ぬるめの方が良いでしょう。日本のシャワーを使うのが初めての人には火傷をしないように水や湯の出し方についてジェスチャーを使って実演して説明します。

(4) 儀式

イスラム教徒の中には1日に何回かお祈りの時間を取る人がいます。彼らにとっては、神聖な儀式のはじまりなので、興味本位でのぞかないように気をつけてあげましょう。

4. 最後に

今まで通訳ボランティアに参加された方たちによれば、「案ずるより生むがやすし」だったということです。

参加前にあれこれ心配されるのは当然ですが、できるだけリラックスして普段のままに接してあげてください。

日本に来ている外国の人は、それぞれの独自の文化や考え方、生活習慣をもっています。会って、話をしてみているろいろな意味での「ちがいを強く感じるでしょう。外国の人とふれあうことで、今まで気がつかなかった日本の文化や、世界観などを顧みるよい機会にもなります。お互いのもっている「違い」をありのままに認めて、尊重し合うという心が養えたら素晴らしいことだと思います。

通訳ボランティア緊急連絡先

公益社団法人半田青年会議所

国際アカデミー実行委員会

国際アカデミー実行委員長 青木 孝太 090-4260-5629

通訳ボランティア担当委員長 河北 泰臣 090-5608-0048

通訳ボランティア担当副委員長 三浦 彰久 090-5622-9536

通訳ボランティア担当幹事 大岩 敏英 090-3308-6533